提出意見及び回答

No	提出ご意見等	市の考え方	計画修正の有無
1	・伊予三島斎場の廃止反対 ・再編パターン④案で伊予三島斎場跡地又は近隣地域に新規大型斎場配備を希望 【理由】 ①人口の状況 人口及び世帯数において伊予三島地区が最多であり、伊予三島地区から斎場が失われると数多くの住民に甚大な影響を及ぼすことが容易に考えられる。 ②アクセスの悪さ 川之江斎場及び土居斎場に限られた場合、市内の偏った 2 箇所に斎場が存在する事となり、人口集中地域を考慮するとアクセスが著しく悪く望ましくない。 ③人口減少の考慮 今後市内人口は減少が想定されており、消滅可能性自治体にも名を連ねました。 このことを考慮すると特に土居地区の人口減少は今後加速することが考えられ、土居地区の斎場を嬉々として優先的に存続する優位性は無い。 ④職員の配備及び交通環境の整備 今後の人口減少を考慮すると複数個所に斎場を配置するのは職員人員の確保の面からも優先度は低い。また霊柩車はバックをしない事が望ましい為、交通の便は非常に重要な要素である。 その点、埋め立て地である三島斎場付近の地域は拡張・交通整備がしやすく高い優位性を持つと考えられる。 ⑤設備の再利用 まだ十分に活用できる設備を 3 施設から抽出→新規大型斎場に配備を行う事で初期コストを抑えられる可能性がある。また、新規大型斎場であれば 1 ヶ所に多数の火葬炉を配備出来る為、 整備手間や部品の管理等のランニングコストが抑えられ、多少イニシャルコストがかかろうとも将来的な利便性を優先する事が望ましい。	本方針に記載の理由(将来人口推計・火葬需要・人口重心・コスト・既存施設の状態など)から、総合的に判断し、川之江斎苑と土居斎苑の長寿命化・継続運営を優位性の高い案としております。 また、本市における火葬需要は 2050 年頃まで横ばいの状況が見込まれているため、火葬需要が減少する頃には適正な規模の新規施設が建設できるように検討を進めますが、P.34「4.2.4 斎場整備方針の妥当性(3) 斎場整備方針の妥当性」に記載のとおり、1 施設に集約する際は人口重心に近い現伊予三島斎場近辺が適地であると考えております。	無

No	提出ご意見等	市の考え方	計画修正の有無
2	市内の斎場は老朽化しているので整備は必要だと思います。 火葬にかかるタイムテーブルを見ましたが現状とは違うように思います。控室利用時間も実際とは違います。 火葬場にお勤めされている職員さんに聞いてこのタイムテーブルの時間をだしたのでしょうか。 川之江斎苑、三島斎場には思いやり駐車場がないので設置お願いします。 三島斎場のバス駐車場は１台分しかなく２台になった場合は後からきたバスが待機する場所がなく場外へ出ていっています。 三島斎場火葬が連続した場合駐車場が不足しています。 川之江斎苑 三島斎場 土居斎苑ともオムツ替えシートや授乳室の設備がありません。 現状は控室が空いていればその部屋を借りています、空きがなければ車の中でオムツ替えしたりしています。 バリアフリートイレにオムツ替えシート設置をお願いします。 土居斎苑は収骨室の隣が待合室になりますが扉等もないので、飲食中に収骨室からのにおいが待合ロビーに流れてくる時があります。 三島斎場 土居斎苑は流しが１ヶ所でお茶や吸物を注ぐ作業スペースがありません（折りたたみ椅子の上にお盆を置いてお茶を注いだりしている業者さんもいます） 川之江斎苑は流しが２ヶ所ありますがやはり作業スペースがありません、小さな木製テーブルがひとつ置いてあるだけです。テーブルや棚もないので、荷物は地面に置いている状態です。 これから火葬が混み合う川之江と土居斎苑には荷物を置いたり作業するスペースを設けてほしいです。 川之江斎苑収骨室前に置いてある人力霊柩車は改修工事後はどうするのでしょうか。 収骨室前に収骨中に貴重品以外の荷物を置いておけるテーブルの設置を希望します。 川之江斎苑が工事期間中 お勤めされている職員の方のお仕事や収入面はどうなるのか心配です。 意見というよりお願いが多くなり申し訳ありません。	火葬にかかるタイムテーブルにつきましては、各斎場にヒアリングを実施して作成しております。 頂きましたご意見につきましては、長寿命化工事等で現場の意見等も確認しながら、対応を検討してまいります。	無